



令和7年度

5月 三大幼だより

江東区立第三大島幼稚園

令和7年4月30日



三大幼 HP は
こちらから

環境に意図や願いを込めて

園長 安田 徳章

4月のある日、「園長先生、このバスにオタマジヤクシが乗っているんだよ」と年長児が話しかけてきました。そして、空き箱で作った自慢のバスの屋根を開けて、プリンカップの中を泳ぐ可愛らしいオタマジヤクシを見せてくれました。本園のビオトープ「すいすい池」で生まれたオタマジヤクシです。

こどもたちは、身近にある環境に自ら関わり、様々な触れたり試したりして、大人では想像もつかないような、一人一人全く違った感じ方や関わり方を繰り返し行っています。よく見るとオタマジヤクシが乗っていたバスは牛乳パックで作られていて、多少の水がついても大丈夫なものになっていました。

教師は環境に意図や願いを込めて、保育室や園庭に様々な物を用意しています。右の写真は、年長の担任が保育室に用意した製作コーナーの一部の写真です。



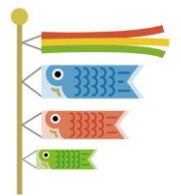
このような、幼稚園で行われている保育の営みを分かりやすく示した動画を文部科学省が作成してインターネットで公開しています。『幼児期の大切な学びが分かる動画シリーズ』として、いくつかの動画が見られますが、その中の「遊びは学び 学びは遊び”やってみたいが学びの芽”～多様な遊びから見える 資質・能力を育むための園の工夫～」という動画では、本園でも大切にしている、環境を通じた教育の意義などが感じていただけると思います。お時間のある時に、是非ご覧いただき、感想等をお聞かせいただけたら幸いです。

参考：文部科学省「遊びは学び 学びは遊び”やってみたいが学びの芽”

～多様な遊びから見える 資質・能力を育むための園の工夫～」



今月の指導のポイント



年中りんご組

幼稚園生活が始まり、1か月がたとうとしています。自分から興味をもった遊びに関わる姿が見られています。また、友達と同じ場で過ごしたり、同じことをしたりすることを楽しみ始めています。教師や友達と安心して過ごしながら、一人一人が自分のやりたい遊びを十分に楽しめるようにしていきます。

また、身支度の仕方や弁当準備の手順を知り、やってみようとする姿が見られます。自分でしようとしている姿を認め、必要な時には、やり方を知らせ、自分でできたという喜びにつながるようにしていきます。

戸外で遊ぶのに、過ごしやすい季節になってきました。園庭で固定遊具や砂場、鬼遊びなどをする中で、戸外で遊ぶことの気持ちよさや楽しさを感じていけるようにします。

年長にじ組

進級してもうすぐ1か月。年中児の手伝いや当番活動、誕生会の司会など、年長組として頑張っている姿が見られています。

園庭で泳ぐこいのぼりは、グループの友達と色を決め、2人組で相談して行い、自分たちで作った嬉しさを味わいました。

今月は、自分なりのイメージをもったり実現したりして遊ぶ楽しさを感じられるようにします。また、自分の思いや考えを伝えようとしながら遊びを進められるようにしていきます。

夏野菜を植えたり、飼育物に関わったりする中で、身近な自然にも関心をもてるようにしていきます。

戸外では鬼遊びやリレーなど、友達と一緒にルールのある遊びをすることや体を動かして遊ぶ楽しさを味わえるようにしていきます。